



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月2日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	19,755	0.2	2,056	29.0	2,084	32.4	1,310	42.4
28年12月期第2四半期	19,719	3.6	1,593	27.9	1,574	21.8	920	37.2

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 1,411百万円(236.1%) 28年12月期第2四半期 420百万円(△59.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	67.33	—
28年12月期第2四半期	47.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	48,977	36,722	66.3
28年12月期	49,165	35,526	63.6

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 32,451百万円 28年12月期 31,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
29年12月期	—	5.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,700	3.4	3,200	11.6	3,250	11.2	1,950	12.0	100.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期 2 Q	20,763,600株	28年12月期	20,763,600株
29年12月期 2 Q	1,303,990株	28年12月期	1,303,486株
29年12月期 2 Q	19,459,923株	28年12月期 2 Q	19,460,461株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性の高まりなどから、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン金利の低下や住宅取得支援策などにより、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、回復ペースは鈍化しており、厳しい環境が続きました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,755百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は2,056百万円（前年同期比29.0%増）、経常利益は2,084百万円（前年同期比32.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,310百万円（前年同期比42.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』に、製品本体と「シールド」の端部を覆う「サイドカバー」を標準装備し、意匠性を向上させたほか、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能「RDS（減速降下機能）」を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』など、付加価値の高い製品の開発・販売に注力し、顧客満足度の向上と市場拡大に取り組んでまいりました。

また、窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめた新たな販促物「窓まわりセレクション」による様々なシーンや用途に合わせたトータルコーディネート提案や、5月から全国24会場において新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は16,961百万円（前年同期比0.3%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,900百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

一部新築案件の工期変更の影響等により、売上高は1,147百万円（前年同期比11.9%減）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、継続的な選別受注や原価低減活動等の取り組みにより、72百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

[減速機関連事業]

設備投資動向が堅調に推移するなか、特殊減速機関連分野における受注が堅調に推移し、売上高は1,646百万円（前年同期比9.0%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等の取り組みおよび利益率の高い特殊製品が伸長したことにより、82百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は48,977百万円で、前連結会計年度末と比較し188百万円の減少となりました。

(資産)

流動資産は31,755百万円で、前連結会計年度末と比較し9百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金、繰延税金資産が減少したことによるものであります。

固定資産は17,221百万円で、前連結会計年度末と比較し179百万円の減少となりました。これは主に、無形固定資産が増加した一方で、有形固定資産が減価償却により減少したことによるものであります。

(負債)

負債は12,254百万円で、前連結会計年度末と比較し1,384百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金、未払金が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は36,722百万円で、前連結会計年度末と比較し1,196百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は66.3%と、前連結会計年度末と比較し、2.7ポイントの増加となりました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し、10,908百万円となりました。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、1,096百万円の増加（前年同期は828百万円の増加）となりました。

これは税金等調整前四半期純利益2,083百万円に対し、法人税等の支払額661百万円、仕入債務の減少額322百万円、未払金の減少額452百万円等による減少があった一方で、減価償却費367百万円、売上債権の減少額359百万円等による増加があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、451百万円の減少（前年同期は327百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出386百万円、無形固定資産の取得による支出71百万円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、249百万円の減少（前年同期は258百万円の減少）となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出32百万円、配当金の支払い216百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成29年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成29年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,578,280	10,969,005
受取手形及び売掛金	14,673,552	14,391,417
商品及び製品	613,535	623,696
仕掛品	1,313,861	1,324,658
未成工事支出金	105,363	202,562
原材料及び貯蔵品	3,381,360	3,392,183
その他	1,114,075	865,423
貸倒引当金	△15,859	△13,799
流動資産合計	31,764,169	31,755,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,068,546	13,086,311
減価償却累計額	△8,752,971	△8,889,802
建物及び構築物(純額)	4,315,574	4,196,509
土地	7,396,065	7,396,065
その他	14,937,694	14,915,689
減価償却累計額	△13,705,566	△13,748,777
その他(純額)	1,232,128	1,166,912
有形固定資産合計	12,943,769	12,759,487
無形固定資産	261,934	293,582
投資その他の資産		
投資有価証券	2,150,947	2,151,257
退職給付に係る資産	314,648	314,144
その他	1,922,412	1,897,699
貸倒引当金	△192,561	△194,217
投資その他の資産合計	4,195,446	4,168,884
固定資産合計	17,401,150	17,221,954
資産合計	49,165,319	48,977,101

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,388,428	5,940,207
未払法人税等	700,170	643,235
賞与引当金	210,308	218,739
役員賞与引当金	71,415	34,605
製品保証引当金	12,193	3,978
工事損失引当金	3,425	-
その他	2,577,860	1,771,834
流動負債合計	9,963,800	8,612,600
固定負債		
役員退職慰労引当金	336,409	339,814
退職給付に係る負債	3,266,021	3,236,328
その他	72,699	65,610
固定負債合計	3,675,130	3,641,753
負債合計	13,638,931	12,254,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	23,110,538	24,228,369
自己株式	△668,179	△668,672
株主資本合計	31,312,375	32,429,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,366	536,999
繰延ヘッジ損益	5,983	1,987
為替換算調整勘定	40,760	37,647
退職給付に係る調整累計額	△615,090	△554,805
その他の包括利益累計額合計	△45,979	21,828
非支配株主持分	4,259,992	4,271,204
純資産合計	35,526,387	36,722,747
負債純資産合計	49,165,319	48,977,101

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	19,719,727	19,755,370
売上原価	11,175,207	11,006,270
売上総利益	8,544,519	8,749,099
販売費及び一般管理費	6,950,523	6,692,981
営業利益	1,593,996	2,056,118
営業外収益		
受取利息	1,374	551
受取配当金	31,719	28,876
不動産賃貸料	15,889	17,907
その他	34,952	38,672
営業外収益合計	83,936	86,007
営業外費用		
支払利息	7	8
手形売却損	1,204	-
売上割引	42,328	43,164
為替差損	54,634	7,671
その他	5,621	7,075
営業外費用合計	103,796	57,920
経常利益	1,574,136	2,084,205
特別利益		
固定資産売却益	418	59
特別利益合計	418	59
特別損失		
固定資産除売却損	1,371	471
特別損失合計	1,371	471
税金等調整前四半期純利益	1,573,183	2,083,794
法人税、住民税及び事業税	460,704	577,766
法人税等調整額	156,299	149,175
法人税等合計	617,004	726,942
四半期純利益	956,179	1,356,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	36,130	46,610
親会社株主に帰属する四半期純利益	920,049	1,310,241

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	956,179	1,356,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△509,848	△326
繰延ヘッジ損益	△16,865	△3,996
為替換算調整勘定	△38,556	△3,112
退職給付に係る調整額	29,146	62,423
その他の包括利益合計	△536,124	54,988
四半期包括利益	420,054	1,411,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,119	1,378,049
非支配株主に係る四半期包括利益	△30,065	33,790

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,573,183	2,083,794
減価償却費	394,144	367,595
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,375	8,431
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,910	△36,810
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△164,625	△9,852
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	37,487	70,566
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,119	3,405
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△6,484	△8,215
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△25,152	△3,425
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,662	△404
固定資産除売却損益(△は益)	952	411
受取利息及び受取配当金	△33,094	△29,428
支払利息	7	8
為替差損益(△は益)	47,344	4,137
売上債権の増減額(△は増加)	484,684	359,121
たな卸資産の増減額(△は増加)	△382,591	△131,170
仕入債務の増減額(△は減少)	△402,746	△322,192
未払金の増減額(△は減少)	△290,069	△452,541
その他	238,336	△175,150
小計	1,459,297	1,728,282
利息及び配当金の受取額	32,936	29,283
利息の支払額	△36	△0
法人税等の支払額	△663,727	△661,495
営業活動によるキャッシュ・フロー	828,470	1,096,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△337,482	△386,400
有形固定資産の売却による収入	436	60
無形固定資産の取得による支出	-	△71,921
投資有価証券の取得による支出	△794	△296
投資その他の資産の増減額(△は増加)	10,799	6,782
定期預金の純増減額(△は増加)	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,043	△451,776
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△42,809	△32,992
配当金の支払額	△192,978	△193,424
非支配株主への配当金の支払額	△22,621	△22,698
その他	△155	△492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,566	△249,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,452	△3,961
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	207,408	390,723
現金及び現金同等物の期首残高	8,848,557	10,517,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,055,965	10,908,462

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,906,019	1,302,944	1,510,763	19,719,727	—	19,719,727
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	43,873	43,873	△43,873	—
計	16,906,019	1,302,944	1,554,637	19,763,600	△43,873	19,719,727
セグメント利益	1,482,623	59,113	52,259	1,593,996	—	1,593,996

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,961,879	1,147,262	1,646,227	19,755,370	—	19,755,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	48,152	48,152	△48,152	—
計	16,961,879	1,147,262	1,694,379	19,803,522	△48,152	19,755,370
セグメント利益	1,900,293	72,853	82,972	2,056,118	—	2,056,118

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。